

東北被災地訪問報告書

名前	三好千加
訪問先名	お茶っこクラブ
実施日時	平成 26年 5月 26日 (月) 10時～11時30分
訪問場所	宮城県亘理町館南仮設住宅
参加人数	B T B (4 名) 現地スタッフ (2 名) 住人 (13 名)

(訪問目的)

- ・仮設住宅にお住まいの方々に今後どのような支援が出来るのかの調査。
- ・お話をして今の現状を知る（仮設の現在・今後、住人の方々現状）
- ・コミュニケーションを取り繋がりを強化する
- ・仙台市行政と今後どのような繋がりでB T Bの考えている事が展開出来るのかの調査

(活動報告)

お茶っこクラブに参加されている方とお話をした。前回 2013年 5月 20日に訪問させていただいたが、その時よりおばあちゃんが積極的に話をして下さったような気がする。そして、前は聞かなかったがお住まいの方がシルバーセンターの仕事をしている方がいるとか、手作りで何かを作られているとか（ジャム、野菜など）積極的に何かをしようとされているムードが高まっているように思えた。そういう意味では自立という方向に向いて来ているのだと感じる事が出来た。お茶っこクラブでも自立に向けたプログラムやお菓子を配る時も一緒に物を渡すところから自分で選んでもらうという自立に向けた事柄をうまく取り入れられていた事の変化が参加者にみられているのだと実感する事が出来た。

今回参加の方でご家族を亡くされ、家も無くされたショックからか、若くして少し痴呆になられている方がいらっしやった。一生懸命お話をして下さったが話が噛み合わない事もあった。来年には今回訪問の仮設住宅から出ていかないといけない。今後これからまだまだ続く復興へのお手伝い…何が出来るだろうと思った。多くの事は出来ないかもしれないけれど、身近な事からやっていくしかないと思った1日だった。おばあちゃんが、今日あった出来事や会った人をメモ帳に書いている姿が、亡くなった祖母と一緒に、その姿を見ていると若くて力のある人間は何かやらないと！と、また力をいただいた気がする。

※住人の声など

